



## ゆめタウン 山口店(山口市)

2002.10.10 OPEN  
山口市大内御堀1302-1  
OPEN/10:00~21:00



取材に応じて下さった方  
青果主任・安武 清市さん

ゆめタウン山口店では、以前からJA山口中央フェアを行って来ました。この特設コーナーでは県産の米や野菜、果物を、実際に試食していただきながら販売しています。試食をせずとよく売れます(笑)。実際に味わって「おいしい」と思えば買いたくなるのが人情なのでしよう。販売協力店オープン

協力店に積極的に参加した背景には、地場の商品を中心として取り扱おうという方針があったからです。10月10日から「やまぐちコーナー」を設けて、JA山口中央管内の近郊野菜などを常時10~15種類を販売しています。平日で200~300点、週末には400近くが売れています。コーナーを作る以前と比べると約1割の伸び。地場の野菜ということで、消費者のみなさんに安心・安全というイメージを一層アピールできたのだと思います。



ゆめタウン山口店のやまぐちコーナー。これからの目標である「生産者の顔が見える商品」も、少しずつではあるが着々と進められている。

の日に、はなっこりーの試食&販売を行いました。はなっこりーだけで600~700点は売れました。お客様に『はなっこりーの美味しさ』をある程度知っていただけたのではないのでしょうか。今後は、単に県産品というだけではなく詳細な産地や生産者情報までを提示して、「生産者の顔が見える商品」にしていきたいと考えています。でも、1日に出る量が多いので、農家を限定してしまふと数が足りなくなるし、そのあたりがジレンマです(笑)。お客様に安心して商品を買っていただきたい一方で、一人でも多くのお客様に買っていただきたい。安心・安全な県産品を安定して供給する方法がないか。今後の大きな課題です。

# みんなの販売協力店

「県産農産物販売協力店」は、地元消費者のみなさんに県産農産物をより身近に感じてもらう、利用しやすいように、生産者・流通業者・販売者が一緒になって作っています。このコーナーでは、「販売者」の方に焦点を当て、「やまぐちコーナー」をよりよいものにするための取

り組みや、今後の抱負など、販売者からの声をお伝えいたします。

「県産農産物販売協力店」の情報は、見つめて! やまぐち農産物愛用推進委員会のホームページ「見つめて!.net」にも掲載しています。こちらもおあわせてご覧下さい! ↓ホームページアドレス↓  
<http://www.mitsumete.net>



口で安全・安心と言っただけでは何にもなりません。私たちは消費者と生産者の間の橋渡し役として、商品を信用してもらおうための地道な活動を続けています。たとえばお客様と一緒に産地へ行き、畑の見学や試食を行う交流会もその一つです。生産者の畑で、栽培の過程や農薬の問題、土作りなど、生産者の思いをしっかりと知ってもらい、「安心・安全」である

コープやまぐち宇部店のやまぐちコーナー。生産者の名前入りの商品も。



この大切さや大変さを肌で感じてもらう。また、こうしたイベントを広報誌等に掲載することで、より多くの消費者に伝わるように心がけています。私たちにとって一番の問題は、高齢化が進み次代を担う後継者が育たない農家の現状です。無農薬で安全性を高めるといことは、生産性が低くなり、当然コストもかかるということです。一方で消費者の求めるのはより安く、しかも安全性の高い商品。こうした間に立って、長い年月をかけて培ってきた生産者や消費者との信頼関係を維持し、さらに広げていくためには、お互いを知り、認め合うことです。安全性の高い商品に人気が集まれば、生産者の収入も安定し後継者も育っていくはず。コープやまぐち宇部店としては、ただ販売するだけの店ではなく、これからも消費者と生産者の架け橋となる店でありたいと思っています。

## コープやまぐち 宇部店(宇部市)

2002.8.31 OPEN  
宇部市恩田町2-2-15  
OPEN/9:30~22:00



取材に応じて下さった方  
店長・白石 昌三さん



生産者の顔が見える産直品には、安全性を重視する消費者が利用しやすい、生産者の思いが伝わりやすいという大きなメリットがあります。コープやまぐちは、15年前から積極的に産直野菜を仕入れてきました。ここ宇部店でも、嘉川地域の契約農家の皆さんと長いお付き合いが続いています。今年8月から新たに販売協力店となったことで、さらに扱う商品の幅が広がり、消費者の皆さんへのアピール度が増しました。

## マックスバリュ 浅江店(光市)

2002.10/30 OPEN  
光市浅江4丁目1番7-1  
OPEN/24時間営業



取材に応じて下さった方  
店長・森岡 圭司さん



以前から「JA周南光朝市」という特設コーナーを設けて、その日の朝に収穫したばかりの野菜を中心に、常時10品目ほどおいていました。このあたりは耕地が少なく、野菜類はあまり多くはないんですが、わさびのような特産品があるんです。それに、量は少なくとも「地場野菜」ということで好評で、現在も続けてい



JA周南光の朝市コーナーと、やまぐちコーナーの目玉商品として販売されているご家庭サイズ生わさび。



ます。そのコーナーの拡充という形で、「やまぐちコーナー」では近郊のものだけでなく、山口県全域から品揃えをして、米、野菜、果物など20品目ほどをおいています。やまぐちコーナー作りをするにあたって考えたことは、お客様に県産品を確実に手にとってもらう方法です。そこで、お客様が県産品を求めやすいように、「やまぐちコーナー」に県産品を集中して並べると同時に、通常の野菜売場にも県産野菜をおくという2方面作戦をとりました。こうすれば、一度通りすぎた「やまぐちコーナー」で手にしなかつたものも、通常の売り場で手にしてもらうことができると思っています。今後は、安心・安全な県産品という付加価値をお客様にどうアピールしていくか、また、安定した供給のために何をやるのが課題です。安全性や衛生管理などへのこだわりをいかして、より安心・安心な県産品をお客様に提供できるように、新しいメニューの提案などを含めて総合的に行っていききたいと思っています。

販売協力店は今後も順次拡大していきます! ご期待下さい。(ただいま県内に着々と拡大中!)